

淀川部会における住民意見の聴取・反映方法の検討について （実施のイメージ案）

1. 実施の目的

部会での委員の議論を深めるために行う。住民が川について考えていること、感じていることを述べてもらい、これらの検討結果を部会での議論に反映させる。

2. 実施イメージ

（1）聴取内容（テーマ）

予め部会としてテーマを設定し、募集する際に事前に住民に知らせる。そのテーマに沿って意見を述べてもらう。例えば、「現在の河川の問題点と、問題を改善するための具体的な方策」についてなど。

（2）実施形態

意見聴取への参加を希望する人々や団体には、まず、決まったフォームに意見を書き込んでもらい、その中から、何人かの人に代表として1人10分等時間を決めて意見陳述を行ってもらう。その後質疑応答を行う

住民意見の聴取を行った後、それらの結果を踏まえて委員間で議論を行う。

前半2時間：住民意見を聞く会

後半2時間：部会（聴取した意見も踏まえた委員の議論）

（3）対象と募集の方法

できるだけたくさんの市民に呼びかける。傍聴者で100人の参加を目指す

過去の委員会・部会の一般傍聴者へ呼びかけ

HPやニュースレターでの告知・募集

琵琶湖・淀川関係のNPOにお知らせ（新聞記事、広告等の検討あり）

全国規模の自然環境団体などにお知らせ

委員による推薦

（4）実施時期等

今後開催を想定している部会のどこかで行う。

現在のスケジュールでは第11回部会（1月中旬予定）での実施を想定。

3. その他

参加者については交通費等は自己負担、謝礼無し

開催状況について新聞等で取り上げてもらえるように働きかける